

久山中便り

久山中学校
令和8年2月16日発行
第74号

建設的な意見多数

生徒総会

13日(金)の午後は、一・二年生による生徒総会でした。

新生徒会役員が示した令和8年度の活動方針を、これまで各クラスで審議してきました。その中から、各委員会の取組等についての質問や要望があったことについて、生徒会から回答がありました。

「心の花エリアで一礼する時のラインが消えかけているので引き直してほしい。」

「駐輪場から自転車が大きくはみ出しているが、駐輪場に入らない場合はどうすればよいか。」

「図書室で読みたい本のリクエストカードを入れる箱を設置してはどうか。」など。

前向きな質問や要望が多く上がっていたようです。



久山中学校の伝統を確認し、引継ぎ、発展させていく決意の場とすることを目標の一つとして掲げています。みんなで意思決定したことを一つ一つ丁寧に守っていくことが、楽しく過ごしやすい学校生活につながります。今後、自主管理する力を一層高めてほしいと思います。

卒業式実行委員会発足

一足早く、進路先が内定している生徒たちによって、卒業式の実行委員会が発足します。

実行委員会では、「卒業式・学年修了式委員」「合唱委員」「愛校作業委員」「卒業制作委員」から組織されています。式の練習や卒業文集づくりなど、手分けして卒業までの準備を進めていきます。

内定しているとはいえ、宿題が課されているなど、忙しい中での準備となります。委員の皆さん、よろしくお願いします。

16日(月)から、卒業式の練習も始まりました。実行委員が掲げた卒業に向けたスローガンは「CANVAS (キャンバス) ～有終の魅～」。

これまでの三年間の思



いを卒業に向けて伝えていくとのこと。来場いただく皆さんのためにも、そして、自分自身、仲間のために、心を込めた式典になることを期待しています。

英訳本贈呈式

夏休みに制作した英訳本が完成し、その贈呈式を、16日(月)に本校で行いました。式には、町長をはじめとする来賓の方がお越しになり、制作に携わった21名の生徒一人一人に手渡されました。

この英訳本は、小学生が久山にかかわる物語を絵本にしたものを、夏休みにALTの先生方の力を借りながら完成させたものです。

絵本のタイトルは「Our story of Hisayama and Mr. Tachibana (私たちと久山の立花山ものがたり)」。歴史の絵本ですから、日本文化にしかないものの翻訳に苦労されたとのこと。

例えば、「早合(はやご)」。木や竹、紙などを漆で固めて小さな筒状に形成し、一発分の火薬を詰めた容器で、現在の「薬きょう」にあたる道具だそうです。

そんな苦労もあって完成した英訳本。図書館で、日本語版と比較しながら味わってほしいものです。

